

国語

小学4年

発展編

本書の構成と特色

■ 全体の構成

この本は、漢字やことばの知識や、物語・説明文・随筆・詩についての基本的な読解力をのばすとともに、高度な応用力まで身につけ、国立・私立中学の受験にも対応できるような構成になっています。

■ 単元の構成

各単元は、「確認問題」と「練成問題」とが一題ずつ、あるいは、「練成問題」が二題によって構成されています。

- ◇ 確認問題……物語・説明文・随筆・詩を読む上で必要な、基本的な読解のやり方が身につけているかを確認しましょう。
- ◇ 練成問題……物語・説明文・随筆・詩のそれぞれについて、いろいろな問題を解くことで、さらに学力を高めていってください。

目次

1	ことば	2
2	ことばのきまり	6
3	物語(1)	10
4	物語(2)	14
5	説明文(1)	18
6	説明文(2)	22
7	随筆	26
8	詩	30
●	やってみよう	34

1

日本語

学習日 /

確認問題

1 次の(1)～(8)の熟語じゆくごの組み立てとしてふさわしいものをあとから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 青空 (2) 男女
- (3) 体重 (4) 開始
- (5) 乗車 (6) 国立
- (7) 明暗 (8) 肉食

ア 上の字と下の字が似た意味になっているもの。

イ 上の字と下の字が反対または対の意味になっているもの。

ウ 上の字が主語しゆご（「～が・～は」）、下の字が述語じゆご（「～だ・～する」）になっているもの。

エ 上の字が下の字の意味をくわしくしているもの。

オ 下の字から上の字へ読むと意味がわかるもの。

(6)	(1)
(7)	(2)
(8)	(3)
	(4)
	(5)

2 次の(1)～(5)の三字熟語さんじじゆくごの組み立てとしてふさわしいものをあとから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 衣食住 (2) 都市化 (3) 科学的
- (4) 新発見 (5) 幸福感

ア「漢字一字十二字熟語」の組み立て。

イ「二字熟語＋漢字一字」の組み立て。
ウ「漢字一字＋漢字一字＋漢字一字」の組み立て。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

3 次の(1)～(5)の四字熟語しじゆくごの組み立てとしてふさわしいものをあとから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 代表選手 (2) 春夏秋冬 (3) 文学者然
- (4) 大遊園地 (5) 駅前広場

ア「漢字一字＋三字熟語」の組み立て。

イ「二字熟語＋二字熟語」の組み立て。

ウ「三字熟語＋漢字一字」の組み立て。

エ「漢字一字」が四つ対等にならぶ組み立て。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

4 次の(1)～(5)のことばの類義語るいぎごとしてふさわしいものをあとから一つずつ選び、それぞれカタカナを漢字に直して答えなさい。

- (1) 天然 (2) 進歩 (3) 無礼
 - (4) 両親 (5) 決意
- シンソ ゲヒン ジンコウ ケッシン
 シツレイ コウジヨウ フボ シゼン

(5)	(3)	(1)
	(4)	(2)

5 次の(1)~(5)のことばの対義語としてふさわしいものをあとから一つずつ選び、それぞれカタカナを漢字に直して答えなさい。

- (1) 初期 (2) 西洋 (3) 終点
- (4) 赤字 (5) 全体

- ブブン キテン キヨウ シロジ
- マッキ コウテン トウヨウ クロジ

(5)	(3)	(1)
	(4)	(2)

6 次の(1)~(10)のことばは、ア「和語」、イ「漢語」、ウ「外来語」のどれにあてはまりますか。それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 川 (2) スカート
- (3) 洋服 (4) 漢字
- (5) ライト (6) 明かり
- (7) 料理 (8) はきもの
- (9) パソコン (10) 国語

(6)	(1)
(7)	(2)
(8)	(3)
(9)	(4)
(10)	(5)

7 次の(1)~(5)が()の意味を表す慣用語になるように、にあてはまる体の一部分を表すことばを書いて答えなさい。

(1) を明かす(周りの人をだしぬいて、あつと言わせる)

- (2) からうろこが落ちる(すっかり分かってなっとくする)
- (3) をまく(びっくりする)
- (4) がおどる(わくわくする)
- (5) で茶をわかす(たいへんおもしろがる)

(5)	(3)	(1)
	(4)	(2)

8 次の(1)~(5)が()の意味を表すことわざになるように、にあてはまることばを書いて答えなさい。

- (1) 魚心あれば 心(親しもうとする相手の気持ちにこたえる)
- (2) とすっぱん(二つのものがまったくちがう)
- (3) よりだんご(美しいみかけより役に立つものがよい)
- (4) の背くらべ(差やちがいがあまりない)
- (5) とびが をうむ(へいぼんな親からりっぱな子がうまれる)

(5)	(3)	(1)
	(4)	(2)

練成問題

1 (例) にならって、次の(1)～(5)の熟語の意味を書いて答えなさい。

(例) 登山 ▽(答え) 山に登る。

- (1) 深海 (2) 市立 (3) 草食
- (4) 読書 (5) 急行

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

2 次の(1)～(5)の三字熟語の にあてはまる漢字一字を書いて答えなさい。

- (1) 雪 花
- (2) 心感 (3) エ 化
- (4) 愛想 (5) 成年

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

3 次の(1)～(5)の四字熟語について、① にあてはまる漢字一字を書いて答えなさい。また、②それぞれの四字熟語の意味としてふさわしいものを

あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 一期一 (2) 以心 (3) 八方 人
- (4) 四 時中 (5) 刀直入

- ア 一日のあいだじゅうずつと。
- イ 相手の目の前で悪口を言う。
- ウ 何もいわずとも心が通じる。
- エ 前置きなしにすぐ本題に入る。
- オ 人がらが明るくだれにでも好かれる。
- カ 一つの場面では一つのことしかできない。
- キ 一生の間にただ一度だけ出あう。
- ク だれにもきらわれないようにふるまう。

(5)	(3)	(1)
①	①	①
②	②	②
	(4)	(2)
	①	①
	②	②

4 次の(1)～(3)の外来語の意味としてふさわしいものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) プレゼント (2) ユニフォーム (3) テキスト
- ア ごちそう イ ぶんぼうぐ
- ウ 教科書 エ 売っているもの
- オ おくりもの カ よこれでもいい服
- キ そろいの服 ク まんがの本

(1)	(2)	(3)

5 次の(1)～(5)が()の意味を表す慣用句になるように、にあてはまることを書いて答えなさい。

- (1) をかぶる (本性をかくしておとなしくふるまう)
- (2) のなみだ (とてもすくない)
- (3) に火をともし (ひどくけちなようす)
- (4) をうつ (相手の話に合わせて受け答えをする)
- (5) 二足の をはく (両立がたい二つの仕事をかねる)

(5)	(3)	(1)
	(4)	(2)

6 次の(1)～(5)の慣用句の意味としてふさわしいものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) さばを読む
- (2) きつねにつままれる
- (3) つるの一声
- (4) 虫のいどころがわるい
- (5) 生き馬の目をぬく

- ア 他人の人をだしぬいてすばやくもうける。
- イ 何をやってもうまくいかずに落ちこむ。
- ウ 気高く美しいひびきのたとえ。
- エ 自分の利えきのために数をごまかす。
- オ 意外ななりゆきにわけがわからなくなる。

- カ その場のだれにもまさる有力者の意見。
- キ ちよっとしたことにもきげんをそこねやすい。
- ク よろこびをかくしきれない様子。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

7 次の(1)～(5)のことわざの意味としてふさわしいものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) あぶはちとらず
- (2) 論語読みの論語知らず
- (3) ミイラとりがミイラになる
- (4) なさけは人のためならず
- (5) 石橋をたたいてわたる

- ア 用心のうえにも、さらに用心を重ねて物事をすすめる。
- イ 相手を説得しようとした者が、相手と同じ意見になってしまう。
- ウ 人をあまえさせるのは、本人の自立のためによくないことだ。
- エ もうかると思ってしまったことのために、かえってそんをする。
- オ 同時にいくつものことをしようとして、結局何もできない。
- カ 自分さえよければ良いと、他人がこまることでも平気でする。
- キ 他人にやさしくしていれば、めぐりめぐって自分のためになる。
- ク 内容が頭で分かっているだけで、じっさいの役に立てられない。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

2
日本語のまほう
学習日 /

確認問題

① 次の(1)～(10)の文から、主語(「は・が」にあたることば)と、述語(「～だ・～する」にあたることば)を一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) ア ぼくは 冬休みに スキーへ 行きます。
- (2) ア いよいよ 明日から 新学期が 始まる。
- (3) ア 冬の 寒さは まだ これからも 続きそうだ。
- (4) ア あそこに いるのが うちの 母です。
- (5) ア ぬすみを 君は 決して するべきじゃない。
- (6) ア なんだ、君も そこへ 行きたかったのか。
- (7) ア かのじよこそ この 学校の マドンナだ。
- (8) ア とだなに おいしい おせんべいが ある。
- (9) ア きれいだ、 光る 一面の オ雪が。
- (10) ア ぼくだって 食べたかった、 その ケーキ。

(9)	(7)	(5)	(3)	(1)
主語	主語	主語	主語	主語
述語	述語	述語	述語	述語
(10)	(8)	(6)	(4)	(2)
主語	主語	主語	主語	主語
述語	述語	述語	述語	述語

② 次の(1)～(5)の文の形としてふさわしいものを、それぞれあとから一つ選び、記号で答えなさい。

- (1) あれが日本一の富士山だ。
- (2) わたしは学校の先生になる。
- (3) かれはまるで大木のようにせが高い。
- (4) お父さんはもうとくに会社にいった。
- (5) 今日の洋服も、とてもかわいい。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

③ 次の(1)～(5)の文の の修飾語は、それぞれのことばをくわしくしていますか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 美しい 心
- (2) 早く 君の ぶん
- (3) また 来年も きれいな 花
- (4) すごく うちの 犬は 鼻が きくのです。
- (5) おかしいだろう、 君の 言う ことは 明らかに。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

4 次の(1)～(10)の単語について、名詞(もの)の名前を表すことはア、動詞(動作を表すことば)にはイ、形容詞(様子を表すことば)にはウの記号で答えなさい。

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> (1) 学校 | <input type="checkbox"/> (2) 楽しい |
| <input type="checkbox"/> (3) 通う | <input type="checkbox"/> (4) 食べる |
| <input type="checkbox"/> (5) 東京 | <input type="checkbox"/> (6) 大きい |
| <input type="checkbox"/> (7) とける | <input type="checkbox"/> (8) くやしい |
| <input type="checkbox"/> (9) くやしがる | <input type="checkbox"/> (10) 三つ |

(6)	(1)
(7)	(2)
(8)	(3)
(9)	(4)
(10)	(5)

5 次の(1)～(5)の文から、名詞を一つずつ書きぬいて答えなさい。

- (1) もうすぐ大阪に着きます。
- (2) おばあちゃんはまだまだ元気です。
- (3) こんなに紙をむだづかいはいけません。
- (4) いつか海外を旅行してみたい。
- (5) 一週間で終わられるようにがんばる。

(5)	(3)	(1)
	(4)	(2)

6 次の(1)～(5)の文から、動詞を一つずつ書きぬいて答えなさい。

- (1) ずっと長い間待つ。
- (2) 折り紙を折る。
- (3) じっと遠くの方を見る。
- (4) 見やすいように大きく書く。
- (5) 食べすぎると体に毒です。

(5)	(3)	(1)
	(4)	(2)

7 次の(1)～(5)の文から、形容詞を一つずつ書きぬいて答えなさい。

- (1) 白い子ネコがいる。
- (2) 試合にまけてくやしい。
- (3) おいしいカレーをたくさん食べたい。
- (4) かれは頭がよいしスポーツもできる。
- (5) ぼくにはやる気があるが、あの子にはやる気がない。

(5)	(3)	(1)
	(4)	(2)

練成問題

1 次の(1)～(5)の文から、主語を書きぬいて答えなさい。

- (1) ぼくがそれをやります。
- (2) 今日もかのじよは元気で明るい。
- (3) 君こそわがチームのスターだ。
- (4) 先生もできません、そんなこと。
- (5) いったいだれだ、こんないたずらをした人は。

(5)	(3)	(1)		
			(4)	(2)

2 次の(1)～(5)の文から、述語を書きぬいて答えなさい。

- (1) かわいらしい花がさく。
- (2) ぼくには答えがわからない。
- (3) さがしている本がどこにもない。
- (4) 身が赤いから、この魚はきつとまぐろだ。
- (5) 楽しいよ、ここの遊園地は。

(5)	(3)	(1)		
			(4)	(2)

3 次の(1)～(5)の文は、——線部がふさわしくありません。ふさわしい形を考えて、——線部を書き直さない。ただし、文の意味を変えてはいけません。

- (1) きのは、運動会があります。
- (2) あしたは、みんなで遊びに行きました。
- (3) どちらのめがねが、君のもです。
- (4) このおかしは、とてもおいしいからです。
- (5) ぼくが好きなのは、国語が好きです。

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

4 次の(1)～(5)の文には、倒置法(ことばの順番をふつうとはぎやくにする方法)が用いられています。(例)にならって、ふつうの文に書きかえなさい。

(例) ぼくです、その絵をかいたのは。

▽(答え) その絵をかいたのは、ぼくです。

- (1) 母です、このマフラーをあんでくれたのは。
- (2) すぐおいしい、このクッキーが。
- (3) 君だったのか、ここに消しゴムを置いたのは。
- (4) つかれのあまりたおれてしまいそうでした、かのじよは。
- (5) 意外に遠いようだ、君の住む町は。

- (1) こんなにきれいな花がさいている場所は初めて見た。
- (2) ケーキもクッキーも、おかしはとにかく大好物です。
- (3) 一週間たって、やっと父が家へ帰ってきました。

6 次の(1)～(3)の文から、**名詞**をすべて書きぬいて答えなさい。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

- (1) 話はまだ終わっていない。
- (2) 話すスピードをおそくする。
- (3) 広さはどれくらいですか。
- (4) 広い庭で走り回る。
- (5) もっとよく考えることが大事だ。

5 次の(1)～(5)の文の——線部の単語について、**名詞**にはア、**動詞**にはイ、**形**容詞にはウの記号で答えなさい。

(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

- (1) おいしいおやつを食べられて満足だ。
- (2) もっと早い時間だと、すばらしいショーが見られたのに。
- (3) 安いものはあまり買わない方がよいと思う。

8 次の(1)～(3)の文から、**形容詞**をすべて書きぬいて答えなさい。

(3)	(2)	(1)

- (1) 帰る場所があるのはしあわせなことだ。
- (2) あんまりたくさん食べると太る。
- (3) 勉強する時間をきちんととるために、遊びを切り上げる。

7 次の(1)～(3)の文から、**動詞**をすべて書きぬいて答えなさい。

(3)	(2)	(1)